

【主催事業】

集まれ！アートパークーからだであそぼうー

日 時：平成23年7月10日（日） 10:00～15:00

会 場：松戸市中央公園

主 催：生涯学習研究所、児童学研究所

共 催：児童学部児童学科、人文学部生涯教育文化学科

後 援：松戸市、松戸市教育委員会、松戸市社会福祉協議会

協 力：スーパーかみとんぼの会、松戸子育てさぽーとハーモニー

アトリエミルクル、松戸まちづくり交流室テント小屋 ほか

参加対象：幼児、小学生

内 容：子ども向けワークショップ

参加者：約350名

スタッフ161名（教員11名、学生135名、地域ボランティア15名）

「集まれ！アートパーク」の開催は、今年で4回目となる。「アートパーク」は、大学の目の前にある松戸中央公園で、学生と地域の子どもたちがアート＝あそびを通してふれあう空間を創造するプロジェクトで、平成20年から継続している事業である。

今年度は、生涯学習研究所と児童学研究所の主催で、行政・子育て支援団体・大学の3者が関わりあい、協力しながら企画運営した。

今回は、「からだであそぼう」をテーマに、授業やゼミ等で考案された12のワークショップを展開した。一例として、巨大なダンボールで怪獣マツドンを制作したり、100kgの粘土と思う存分触れ合ったり、牛乳パックや羊毛を材料に大きさの異なるボールを作って遊んだり、大量の新聞紙を裂いたり丸めたり投げあったりするプールなど、どの活動にも、子どもたちに思いっきりからだや感覚を使って遊んでほしいという願いがこめられている。

実際に、子どもたちは、からだで表現することの心地よさを体験してくれたようで、気温33度を超える真夏日にも関わらず、大勢の子どもたちが終了時刻まで楽しむ姿が見られた。

この事業は、企画から運営までを、授業を通して、学生が考案し、実行することが最大の特長である。それぞれが所属する学科の特色を生かして、参加者をはじめ、地域の方と連携することによって、さまざまな年齢の方との接し方など、体験から学ぶ事を重視している。今後も積極的にこのような事業を展開していきたい。

